

普及活動情勢報告（令和5年1月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

新規就農者の確保、定着に向けて ～新規就農相談会～



相談会の様子

1月6日、JA高知県四万十農協会館で新規就農相談会を開催し、相談者2名が参加しました。

普及所は、町役場、JA、農業支援活動を行うNPO法人とともに、就農志望者と経営状況に悩みを抱える新規就農者に対して、就農にあたっての支援事業の紹介や経営のアドバイスをを行いました。

相談者からは「こういった支援事業があるのかわかった」「経営改善のためどうするか目処が立った」との声が聞かれました。

今後も関係機関と協力し、就農支援はもちろんのこと、就農後の定着サポートにも取り組んでいきます。

高品質酒米生産に向けて ～JA高知県四万十酒米生産部会 出荷反省会～



普及所からの説明の様子

1月13日、JA高知県四万十酒米生産部会 出荷反省会が開催され、生産者10名が参加しました。

出荷反省会では、令和4年産米集荷実績等の報告がありました。普及所からは、令和4年産「吟の夢」の生産履歴から見た検査等級向上対策等について説明しました。参加者からは、「穂肥の重要性が改めて理解できた」「遅植えが検査等級向上につながる仕組みが分かった」といった声が聞かれました。

普及所は、今後も管内生産者の高品質酒米生産を支援していきます。

四万十町昭和地区の昔野菜を守ろう！ ～昔野菜の収穫・販売体験授業～



みんなで高菜を収穫

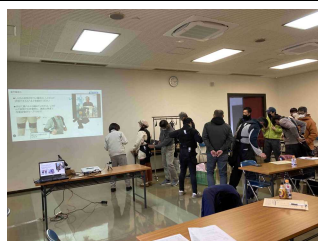
1月18、19日、四万十町立昭和小学校で昔野菜の収穫・販売体験授業を行い、普及所は学校、生産者、地域おこし協力隊、JA、町役場とともに食育活動を支援しました。

昭和地区では、小学3年生と4年生の合計17名を対象として昭和地区大道に伝わる昔野菜の種とりから販売までの体験授業を行っています。18日は学校の畑で育てた昔野菜を収穫し、翌日19日には販売体験を実施しました。

児童たちは、自分たちで育てた大きなダイコンや高菜を、寒空の下きれいに水洗いし販売したことで達成感に目を輝かせていました。

今後も地域に伝わる野菜の継承活動を支援していきます。

腰への負担軽減！アシストスーツ実演会 ～JA高知県四万十生姜部会反省会～



アシストスーツの試着

12月23日、JA高知県四万十生姜部会反省会にてアシストスーツ実演会を開催し、生産者13名が参加しました。

実演会では、メーカー3社からアシストスーツについて説明を受けた後、試着を行い、実際の着心地を確認したり、重いコンテナを持ってその効果を確認したりしました。生産者からは、「これはいいね」といった声が聞かれ、興味津々でした。農作業は腰に負担のかかる作業が多く、アシストスーツを始めとする、農作業の軽労化はこれからの重要な取組となります。

普及所は、今後も生産者の軽労化、省力化への支援を継続していきます。